本体内側に汚れが目立ってきたときは…

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」の場合

汚れは水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）によるものです。これらの汚れには、スーパーや薬局で販売されているクエン酸のご使用をお勧めします。
①クエン酸（約 10g）をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
②2 ～ 3 時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
③充分に乾燥させる。

飲食物の汚れの場合

ステンレスボトル用洗浄剤 TAA-A100（別売品）のご使用をお勧めします。
◆品番 TAA-A100 10g×4 包入り

仕様

サイズ		0.25タイプ
実容量		0.25L
保温効力	1時間	83度以上
	6時間	56度以上
保冷効力（6時間）		12度以下
外形寸法 *1		幅 7.5×奥行 7.5×高さ 10.9cm
質量 *1		0.17kg

＊1 おおよその数値です。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品 に熱湯をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから1時間及び6時間放置した場合におけるその湯の温度です。
※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度です。
※実容量とは、製品付属のせんをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

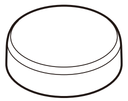
消耗品・別売品のお買い求めについて

せん・飲み口・せんパッキンは消耗品です。（熱や蒸気にふれるためご使用にともない傷んでくる場合があります。）1年を目安にご確認ください。
汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上交換してください。
●お買い上げの販売店
●タイガーお客様ご相談窓口（下記「連絡先」参照）
●消耗品・別売品のご購入専用ホームページ

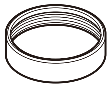
http://www.tiger.jp/shop.html

ご購入いただける消耗品・別売品

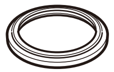
せん ＊1



飲み口 ＊2



せんパッキン



＊1 パッキンつきです。
製品の色柄により異なります。

＊2 製品の色柄により異なります。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.9をご覧になりお調べください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

①製品名 ②品番（本体底面シールに表示） ③製品の状況（できるだけ詳しく）④購入日

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社 本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-011101**
有料でご案内させていただいております。
※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
TEL（06）6906-2121

●受付時間　AM9:00～PM5:00　月曜日～金曜日
（祝日・弊社休業日を除きます。）

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス **http://www.tiger.jp/**

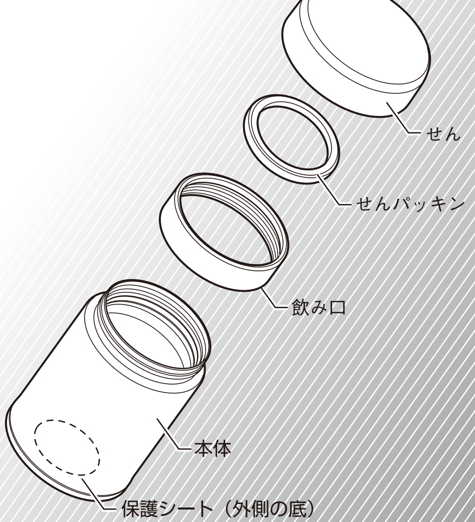
タイガー魔法瓶

品番
MCA-B 型

ステンレスカップ

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。

安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意　に関するシールと底のシールは、はがさないでください

けがややけどの原因となる、特にお守りいただきたい内容です。

乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。
やけどやけがなどのおそれ。

熱いものを入れた場合は注意してゆっくり飲む。
やけどのおそれ。（断熱効果により、熱いものを入れても外側は熱くなりません。）

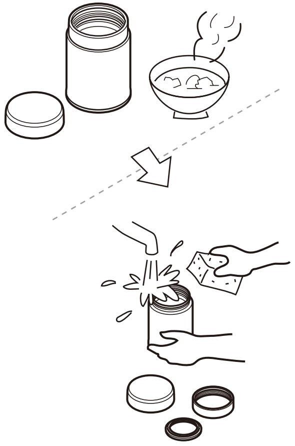
ドライアイス・炭酸飲料などは絶対に入れない。
本体内部の内圧が上がり、せんがあかなかったり、内容物が吹き出るおそれ。また、せんが破損して飛散する可能性があり危険です。

コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。
やけど・変形・変色の原因。

生ものなど腐敗しやすいものは入れない。
腐敗のおそれ。
腐敗によりガスが発生し本体内部の内圧が上がり、せんがあかなかったり、内容物が吹き出るおそれ。また、せんが破損して飛散する可能性があり危険です。

飲食物は、できるだけ早く(6 時間以内)食べきる。使用後すぐにお手入れを行い、よく乾燥させる。
腐敗・変質の原因。
腐敗によりガスが発生し本体内部の内圧が上がり、せんがあかなかったり、内容物が吹き出るおそれ。また、せんが破損して飛散する可能性があり危険です。

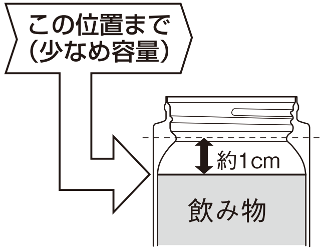
外出時など充分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。
カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因や腐敗・変質・サビのおそれ。



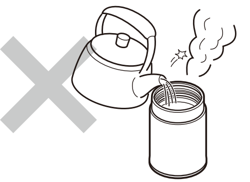
乳製品を含む飲食物、冷製スープなどは必ず一度加熱調理する。
腐敗・変質の原因。

せんは、確実にしまっていることを確認する。
内容物がもれて、やけどやものを汚す原因。

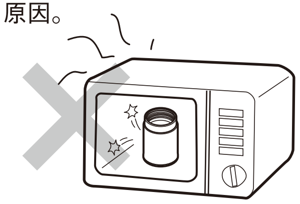
飲食物の量は、図の位置までにする。
入れすぎると、もれたり、あふれたり、やけどのおそれ。



肩・飲み口部分にヤカンなどの注ぐ容器をあてない。
転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



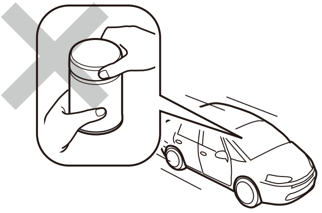
電子レンジで加熱しない。
火花が飛んで、けが・故障の原因。



傾けた状態や顔などを近づけた状態であけない。
熱いものを入れた場合、本体の内圧が上がり、内容物が急激に出たり、飛散してやけどなどのおそれ。

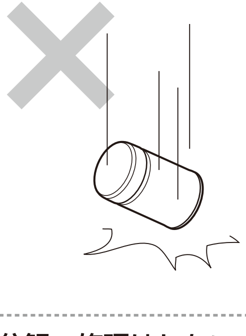
保温性能が低下したときは使用しない。
熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどなどのおそれ。

自動車走行中は使わない。
やけど・車内や衣服を汚す原因。（また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。）



飲食物の保温・保冷以外に使わない。

倒したり、落としたり、ぶつけたりする等の強い衝撃を与えない。
破損・保温（保冷）効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれるおそれ。



分解・修理はしない。
故障や事故の原因。

冷凍庫に入れない。
内容物がもれたり、破損のおそれ。

お茶の葉・果肉などは入れない。
もれるおそれ。

スポーツ飲料を入れた場合は使用後、すぐにお手入れをする。
外出時など充分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因。

かばんや袋に入れたまま放置しない。
周囲の環境（湿度・塩分）などにより、サビ・においの原因。

本体外側が濡れている状態で、かばんなどに入れない。
サビ・におい・汚れの原因。

塩素系漂白剤は使わない。
サビたり、穴があく原因。

本体の柄やシールを、つめやかたいもので引っかいたり、こすったりしない。
はがれる原因。

本体外側の底に貼ってある保護シートは、絶対にはがさない。
はがすと、保温（保冷）効果が低下するおそれ。

本体の横置きはしない。
内容物がもれる原因。

かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。
横にするともれるおそれ。

飲食物の色が飲み口に付着する場合がありますが、性能や安全性に支障はありません。

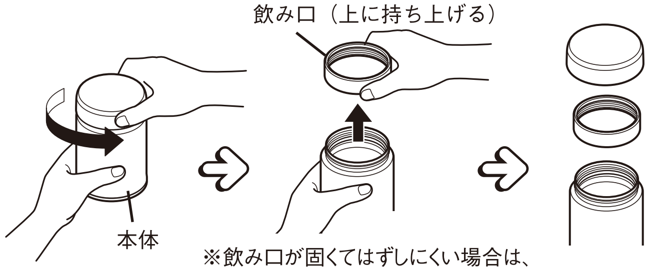
使いかた

1

せんをはずす。

First! はじめて使うとき

●「はじめて使うとき」を参照してお手入れする。➡ P.7
●せんにパッキンがついていることを確認する。



※飲み口が固くてはずしにくい場合は、
しばらくお湯に浸けてからはずしてください。

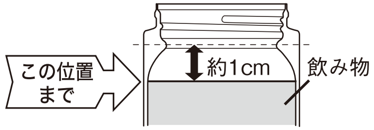
2

保温（保冷）効果を高めたいときは、少量の熱湯（冷水）を入れ、1～2分予熱（予冷）する。
予熱（予冷）後は、お湯（水）をすてる。

3

熱い（冷たい）飲み物を入れる。
●飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。

●大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。

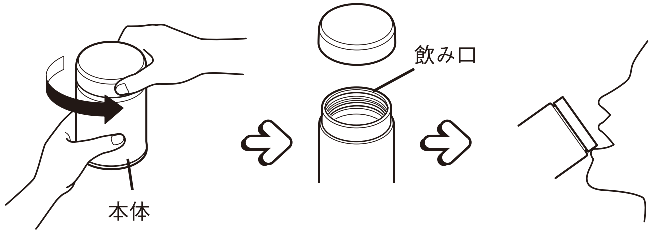


4

本体を立てた状態にしてせんをしめる。
●せんがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。

5

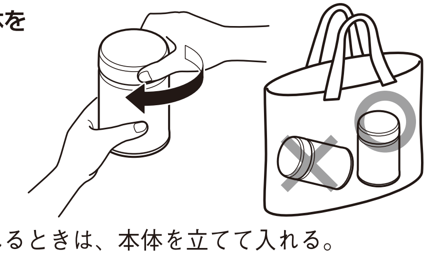
本体を持って、せんをあけて飲む。



ご注意
●みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れた場合は、使用後すぐにお手入れをする。

6

飲み終わったら、本体を立てた状態にしてせんを確実にしめる。



ご注意
●かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。
横にすると、もれるおそれ。

お手入れのしかた

はじめて使うとき

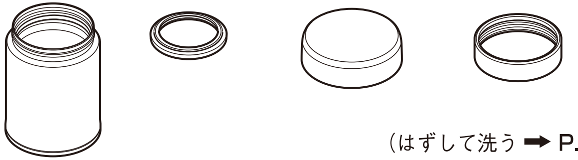
材料特有のにおいがする場合があります。この場合は以下の手順でお手入れしてください。

① 本体に熱湯を入れ、せんを確実にしめる。
➡P.5・6

② 本体を持って、内側を充分にすすぐ動作を数回くりかえす。（強い振動は加えない。熱湯が吹き出しやけどのおそれ。）
③ お湯をすて、各部のお手入れをする。
➡下記

◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
◆洗剤は、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使う。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。
◆においを防ぐために、こまめにお手入れする。

本体　せんパッキン　せん　飲み口



（はずして洗う ➡ P.8）

① 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で充分にすすぐ。（本体とせんは、流し洗いはできますが、つけおき洗いはしないでください。）
② 乾いた布で水分をふき取り、充分に乾燥させる。

せんパッキンににおいがついたとき

内容物によっては、そのにおいがせんパッキンに付着することがあります。
気になる場合は内容物ごとにせんパッキンもしくは、せんをお買い求めください。 ➡P.10

（例：みそ汁用のせんとスープ用のせんを使い分ける）

ご注意

●本体を丸洗いした後は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。ふき取らないと「水滴」の跡が残ったり、サビ・他のものを汚す原因。
●シンナー類・クレンザー・塩素系漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
●食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。熱湯を使わない。
●せん・パッキン類は必ず取りつける。➡ 下記
●長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させる。

パッキンのはずしかた・つけかた

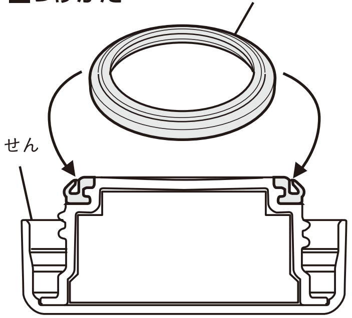
ご注意

パッキンの取付位置、方向をまちがえないようにする。
内容物がもれるおそれ。

■はずしかた

せんパッキンをつまみながら、ゆっくりはずす。

■つけかた



せんパッキンの取付方向をまちがえないように奥まできっちりはめ込む。

不具合が生じたときは

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
飲み物がもれる。	せん・パッキンが確実にセットされていますか。	確実にセットする。➡P.8
	せん・パッキンが破損していませんか。	破損しているときは、お買い求めの上交換してください。➡裏表紙
	パッキンの取りつけ位置、方向をまちがえていませんか	確実にセットする。➡P.6・8
	飲み物を入れすぎていませんか。	入れすぎないようにする。➡P.2
	食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸したりしていませんか。➡P.8	
保温（保冷）が効いていない。	落としたり、強い衝撃を与えたりしていませんか。➡P.3	
	お手入れの際、本体の内側を強く押したり、金属たわし等を使用したりしていませんか。➡P.8	
	飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。	
	寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。	
本体内側、パッキンやせんから異臭がする。	はじめて使うときは、材料特有のにおいがする場合があります。	「はじめて使うとき」を参照してお手入れする。➡P.7
	汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしたりしていませんか。	お手入れをする。➡P.7
	水道水に含まれるカルキ臭が残る場合があります。	
本体を振ると「カシャカシャ」と音がする。	保温（保冷）効力を高めるために、本体内部に入れている金属箔の一部がこすれて出る音で性能に影響はなく、異常ではありません。	